

令和2年度 高等学校OPENプロジェクト実施計画書（3年次）

1 研究の概要

現在標茶町は、人口減少による町と農業の衰退や産業の担い手の減少、町の活力の低迷、酪農の町のイメージの希薄化、牛乳乳製品の処理能力の低下など多くの課題を抱えている。そこで、町内唯一の高校である本校は、この現状を打開し町の活性化を目的とした「しべパフェ」で元気な町づくりプロジェクトを開始した。

プロジェクト1年目は、町との協働体制をつくり、パフェ構想の具現化を見据えた動きとして、クリプトンFM社とのコラボ製品である雪ミクパフェのデザインに本校生徒が携わるなど、パフェの町「標茶」のイメージ化に努めた。

2年目は、この「しべパフェ」の取組を拡充しクリプトンFM社との連携のもと、標茶町を表現するなどした魅力的なデザインのパフェを目指して活動し、美味しいだけではなく、デザインにストーリー性や特徴を盛り込んだ「しべパフェ」を3種類開発することができた。

さらに、町民の方に広く販売するためにミルキークラウン乳業からキッチンカーをお借りし、町内販売会で「しべパフェ」1,030食を販売することができ、販売会に集まった600の方に協力いただいたアンケートから、標茶町内の85%の方に「しべパフェ」を知ってもらっていることがわかった。しかし、標茶町以外の方からの認知度は15%と低く、町外から人を集めるためには、外に向けたPR活動が必要だと感じた。

3年目は、パフェの町としての知名度を確立し、このパフェ事業を起爆剤として食の6次産業化プロデュース（食プロ）を学ぶ本校生徒が実習の場として運営に関わることができる体験型の食品加工施設と道の駅建設構想を「産官学」の繋がりにより、標茶町としての6次産業化を具体化していく。

今年度の実施目標は、標茶町にパフェの文化を定着させ、その活動を釧路管内でPRすることとし、次の3つとする。

- ① 町内飲食店での「しべパフェ」提供をサポートする。
- ② 町内菓子店とコラボした「しべパフェ」を開発する。
- ③ 釧路管内での販売を実施し、標茶町と「しべパフェ」を売り込む。

それぞれ、協力店舗数は4件以上。釧路管内での活動認知度35%以上を目標に活動を展開する。高校生の活動を中心に標茶町に新たな活力を生み、標茶町の未来を明るく照らすプロジェクトとしていきたいと考える。

2 研究主題

「しべパフェ」で元気な町づくりプロジェクト
～標茶町でパフェを食べてみませんか～

3 研究の内容等

(1) 解決に取り組む地域の課題

- ・人口減少による町と農業の衰退 ・産業の担い手の減少
- ・町の活力の低迷 ・酪農の町のイメージの希薄
- ・牛乳乳製品の処理能力の低迷

(2) 研究目的と目標

(研究目的)

地域の課題に取り組むことで、地域愛を育み将来地域で活躍したいと考える生徒の育成を図る。さらに、活動を通して問題を解決するための方法を体験的に学ぶ。

(研究目標)

標茶町にパフェの文化を定着させ、その活動を釧路管内でPRすることとし、①町内飲食店での「しべパフェ」提供をサポートする。②町内菓子店とコラボした「しべパフェ」を開発する。③釧路管内での販売を実施し、標茶町と「しべパフェ」を売り込む。

【評価方法】①販売個数 「A」1500以上、「B」750～1499、「C」749以下

②協力店舗数 「A」4件以上、「B」1～3件、「C」0件

③認知度 「A」35%以上、「B」15～34%、「C」14%以下

(3) 研究内容

(内容)

協力店舗づくりと各店舗の実情に合わせた「しべパフェ」の形を協力して作り出していきたい。また、行政と農協、商工会が連携して協力店舗への働きがしやすいよう下支えを行う。

(方法)

- ・昨年度のデザイン作成の経験を活かし、店舗に合わせたパフェデザインを決定させる。
- ・安定供給に向け、役場や商工会、協力企業の協力のもと、飲食店をサポートできる組織を構築する。
- ・観光協会や商工会を通じて情報誌での情報掲載、しべパフェMAPを作成する。

(教育課程上の位置付け)

課題研究(3年次・3単位)、食品研究A(2年生・2単位)、食品研究B(3年生・2単位)

(4) 実践研究の規模

- ・パフェの考案・製造については酪農・食品系列の生徒で実施する。
- ・経済波及効果や飲食店の調査は文化理解系列の生徒で実施する。
- ・地域向けプロモーション動画作成等は地域環境系列の生徒で実施する。

(5) 研究成果の普及方法

- ・校内実績発表大会で活動報告(11月)
- ・校内総合学科研究発表会で活動報告(1月)

(別紙様式)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内研修会や会議において活動報告 ・ 標茶うまいもん発見市場、他地域イベントでの紹介と調査
--

(6) 3年間の研究計画

研究年度	研究内容
平成30年度 (1年次)	本校において生乳生産からパフェの商品化に至るまでの製造工程を衛生的見地に立って研究し、パフェの町を実行するための組織づくりを行う。
令和元年度 (2年次)	町内の飲食店でオリジナルのパフェを商品化する。そのための本校でのノウハウを生かし、行政と農協、商工会が連携し協力店舗づくりの仕掛けを進める。
令和2年度 (3年次)	パフェの町としての知名度を確立し、このことを起爆剤として食プロを学ぶ本校生徒が実習の場として運営に関わることが出来る体験型の食品加工施設と道の駅建設構想を「産官学」により進め、標茶町としての6次産業化を具体化する。

(7) 令和2年度の実践計画

実施月	実践内容
4月	6時間：食品研究A・B（場所：校内情報室） 「しべパフェ」MAPのデザインとパフェデザインの考案 使用機材：タブレット 連携：クリプトン
	6時間：課題研究（場所：校内実習室） パフェの試作と試食アンケートの実施 使用機材：調理器具 連携：クリプトン、ミルキークラウン
5月	6時間：食品研究A・B（場所：校内実習室） 「しべパフェ」MAPのデザインとパフェデザインの考案 使用機材：タブレット 連携：クリプトン
	6時間：課題研究（場所：校内実習室） パフェの試作と試食アンケートの実施 使用機材：調理器具 連携：クリプトン、ミルキークラウン
6月	2時間：特別活動（場所：町内飲食店） 「しべパフェ」のデザインについて店舗へのヒアリング 使用機材：カメラ 連携：標茶町商工会
	6時間：食品研究A・B（場所：校内情報室） 町内飲食店とのヒアリング結果のまとめとデザインの決定 使用機材：PC、FAX 連携：クリプトン
	8時間：課題研究（場所：校内実習室） アイスクリームの製造 使用機材：製造機器
	4時間：食品研究A・B（場所：校内情報室） 学校祭での販売に向けた準備 使用機材：PC

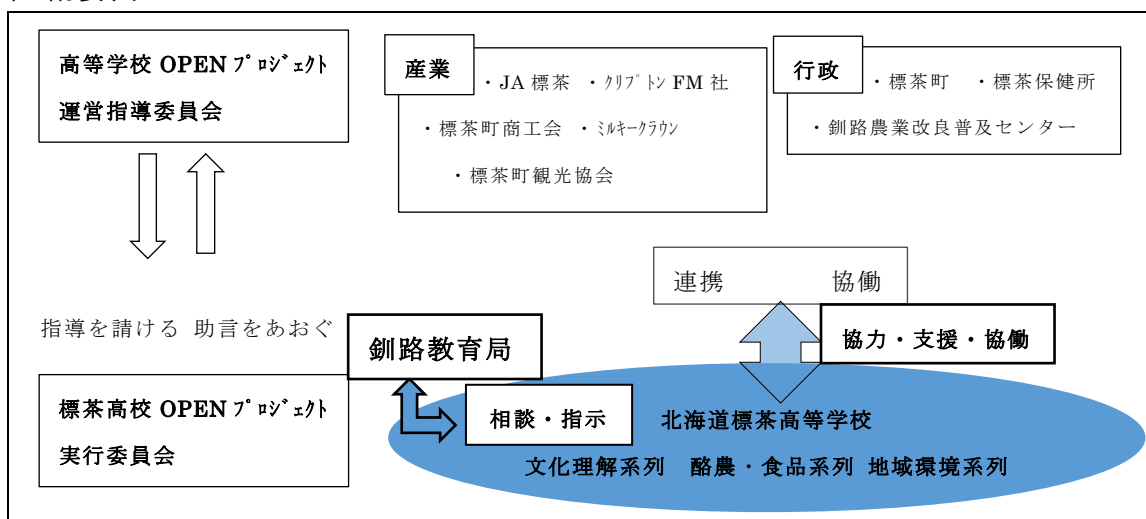
7月	4時間：課題研究（場所：校内実習室） プロモーション動画作成に向けた打合せ 使用機材：タブレット
7月	6時間：特別活動（場所：町内駅前） パフェを販売し活動をPR、アンケートを実施 使用機材：製造器具 連携：標茶町役場、商工会
	2時間：食品研究A・B（場所：校内情報室） アンケートの集計と反省、次回に向けた方策 使用機材：PC
8月	2時間：課題研究（場所：校内実習室） プロモーション動画作成 使用機材：タブレット
8月	6時間：課題研究（場所：校内実習室） パフェ材料の製造 使用機材：製造機器
	4時間：課題研究（場所：町内飲食店） 協力店舗へのヒアリング 使用機材：カメラ 連携：標茶町商工会
9月	10時間：食品研究A・B（場所：校内情報室） 今年度の活動をまとめ、資料を整理 使用機材：PC
9月	6時間：特別活動（場所：町内河川敷） 町内の祭りでパフェ試食会を行い活動をPR、アンケートを実施
10月	12時間：食品研究A・B、課題研究（場所：校内情報室） 今年度の活動をまとめ、資料を整理 使用機材：PC
	4時間：課題研究（場所：校内実習室） プロモーション動画作成 使用機材：タブレット
11月	◎成果発表会（札幌） 16時間：食品研究A・B、課題研究（場所：校内情報室） 今年度の活動をまとめ、資料を整理 使用機材：PC
12月	◎校内実績発表大会 12時間：食品研究A・B、課題研究（場所：校内情報室） 次年度に向けた準備、資料を整理 使用機材：PC
	4時間：特別活動（場所：外部施設） 「しべパフェ」実行委員との話し合い 使用機材：カメラ 連携：役場、農協、商工会
1月	2時間：課題研究（場所：校内多目的ホール） 外部来校者向け試食会とアンケートの実施 使用機材：カメラ
	6時間：食品研究A・B、課題研究（場所：校内情報室） 次年度に向けた引き継ぎ、資料の整理 使用機材：PC
2月	◎校内総合学科研究発表会 12時間：食品研究A・B（場所：校内情報室） 「しべパフェ」の生産・供給体制の研究 使用機材：PC

(別紙様式)

3月	4時間：食品研究A・B（場所：校内情報室） 次年度に向けた目標の設定、計画立案 使用機材：PC 2時間：特別活動（場所：外部施設） 「しべパフェ」実行委員と新組織の立ち上げ・プロモーション 使用機材：カメラ 連携：役場、農協、商工会
----	--

4 研究組織

(1) 概要図



(2) 校内研究担当者

職名	氏名	担当教科・分掌等
○教諭	増田 昌宏	農業（食品・流通）・寮務部
教諭	小出 えり	体育・キャリアガイダンス部
教諭	穂刈 大知	農業（食品）
実習助手	齋藤 卓	農業（食品）

(3) 連携・協働先

連携・協働先	具体的な連携・協働内容
標茶町役場	広報活動、道の駅建設構想計画
標茶町農業協同組合	標茶町産の素材アドバイス
標茶町商工会	町内飲食店の統率
標茶町観光協会	ホームページ更新、他団体との連携
クリプトン・フューチャー・メディア(株)	パフェ作成のアドバイス及び監修
ミルククラウン乳業	実践販売等の協力、キッチンカーの借用

(4) 地域みらい連携会議構成員

所属・職名	氏名	備考（専門分野等）
標茶町長	佐藤 吉彦	商工観光
標茶町農業協同組合・代表理事組合長	千葉 孝一	農業
標茶町商工会・会長	田中 進	商工
標茶町観光協会・会長	佐藤 紀寿	観光・建築

(別紙様式)

クリプトン・フューチャー・メディア・社長 ミルキーク라운乳業・会長 標茶町観光協会・理事 北海道標茶高等学校・校長	伊藤 博之 館石 吉貴 笥 陽介 津嶋 拓慈	宣伝・企画 酪農・乳業 会議コーディネーター
--	---------------------------------	------------------------------

5 その他特記すべき事項

当事業を通じて、標茶町内の各団体との連携をより強化することができ、当事業以外の他の取組での成果も期待できる。

6 研究のイメージ図

